

# 委託事業実施内容報告書

## 平成21年度「生活者としての外国人」のための日本語教育事業

### 【日本語教室の設置運営】

受託団体名 株式会社インターナショナルアカデミー

#### 1 事業の趣旨・目的

子育てをしている外国人が必要とする基本的な日本語の習得を支援する。

(小学校・中学校等とのやりとりで必要とする日本語と日常生活で必要とする日本語)

#### 2 運営委員会の開催について

【概要】

開催日時	出席者	議題	会議の概要
平成 21 年 7 月 21 日	米山道男、土橋信男、 阿部仁美、中川かず 子、後藤道、対木正文	カリキュラム、教材作成につ いて。募集方法について。 実施計画等。	参加者が達成感を得ら れるような工夫が必要。 たいくつにならないよう なカリキュラム作りを。
平成 21 年 11 月 13 日	米山道男、土橋信男、 阿部仁美、後藤道、対 木正文	第 1 回運営委員会の内容を 受けて改善した点。中間ア ンケートの報告等。	受講者集めの方法。交 流会の検討。
平成 22 年 3 月 1 日	米山道男、土橋信男、 阿部仁美、中川かず 子、後藤道、対木正文	最終日アンケートの報告 等。	今後の課題。

【写真】



### 3 日本語教室の開催について

- ① 日本語教室の名称 「外国人保護者のための日本語教室」
- ② 開催場所 IAYインターナショナルアカデミー内
- ③ 学習目標 子育てをしている外国人が必要とする基本的な日本語の習得を支援する。
- ④ 使用した教材・リソース IAYオリジナル教材。「はじめのいっぽ」(スリーエーネットワーク)
- ⑤ 受講者の募集方法

ポスター、リーフレットを4ヶ国語で作成し、札幌市内の公共施設や教育機関に郵送・持参した。また札幌市教育委員会より外国籍児童・生徒の在籍する小中学校のリストをいただき、ポスター・リーフレットを郵送した。また、札幌市私立保育所連合会、北海道中国帰国者支援交流センター、地域在住の外国人のためのメーリングリスト等にも広報のご協力をいただいた。

(ポスター・リーフレットについては別紙添付。)

- ⑥ 受講者の総数 16 人(延べ人数ではなく、受講した人数を記載すること。)
- ⑦ 開催時間数(回数) 30 時間 (全 10 回)

⑧ 日本語教室の具体的内容

回	開催日	時間数	受講人数	国籍・母語 (人)	教授者・補 助者人数	内容
①	10月13日 9:30-12:25	3時間	12人	中国(台湾含 む)・中国語(6 人) 韓国・韓国語(2 人) フランス・フラ ンス語(1人) インドネシ ア・インドネシ ア語(1人)イ ギリス・アメリ カ・英語(2人)	教授者1人 補助・通訳 3人	IAYオリジナル教 材、「はじめのいっぽ」 (日本の学校制度。学 校に通うには。就学 時、帰国時の手続き。 日本語レッスン。)
②	10月20日 9:30-12:25	3時間	9人	中国(台湾含 む)・中国語(3 人) 韓国・韓国語(2 人) フランス・フラ ンス語(1人) インドネシ ア・インドネシ ア語(1人)イ ギリス・英語(2 人)	教授者1人 補助・通訳 3人	IAYオリジナル教 材、「はじめのいっぽ」 (学校の集金業務。手 続きに必要な口座の 開設。家庭への援助。 日本語レッスン。)
③	10月27日 9:30-12:25	3時間	12人	中国(台湾含 む)・中国語(5 人) 韓国・韓国語(3 人) フランス・フラ ンス語(1人) インドネシ ア・インドネシ ア語(1人)イ ギリス・アメリ カ・英語(2人)	教授者2人 補助・通訳 3人	IAYオリジナル教 材、「はじめのいっぽ」 (学校のきまり。服 装。持ち物。学用品。 給食に関すること。)
④	11月10日 9:30-12:25	3時間	14人	中国(台湾含 む)・中国語(6 人) 韓国・韓国語(4 人) フランス・フラ ンス語(1人) インドネシ ア・インドネシ ア語(1人)イ ギリス・アメリ カ・英語(2人)	教授者2人 補助・通訳 3人	IAYオリジナル教 材、「はじめのいっぽ」 (小学校の1日。登下 校。通学路。土日の参 加行事について。)

⑤	11月17日 9:30-12:25	3時間	9人	中国(台湾含む)・中国語(3人) 韓国・韓国語(4人) フランス・フランス語(1人) インドネシア・インドネシア語(1人)	教授者2人 補助・通訳3人	IAYオリジナル教材、「はじめのいっぽ」 (担任の先生と保護者のあいだの連絡、学校のおたより。)
⑥	11月24日 9:30-12:25	3時間	13人	中国(台湾含む)・中国語(5人) 韓国・韓国語(4人) フランス・フランス語(1人) インドネシア・インドネシア語(1人) イギリス・アメリカ・英語(2人)	教授者2人 補助・通訳3人	IAYオリジナル教材、「はじめのいっぽ」 (学校からの課題、学校へ提出する文書など。)
⑦	12月1日 9:30-12:25	3時間	12人	中国(台湾含む)・中国語(5人) 韓国・韓国語(4人) フランス・フランス語(1人) インドネシア・インドネシア語(1人) イギリス・英語(1人)	教授者2人 補助・通訳3人	IAYオリジナル教材、「はじめのいっぽ」 (小学校の1年間。参観、懇談会など保護者の学校行事への参加。)
⑧	12月8日 9:30-12:25	3時間	12人	中国(台湾含む)・中国語(5人) 韓国・韓国語(4人) フランス・フランス語(1人) インドネシア・インドネシア語(1人) アメリカ・英語(1人)	教授者2人 補助・通訳3人	IAYオリジナル教材、「はじめのいっぽ」 (PTA活動について。中学校について[服装、進路等])。)
⑨	12月15日 9:30-12:25	3時間	12人	中国(台湾含む)・中国語(6人) 韓国・韓国語(3人) フランス・フランス語(1人) インドネシ	教授者4人 補助・通訳3人	IAYオリジナル教材、「はじめのいっぽ」 (先輩外国人保護者の体験談とワークショップ。)

				ア・インドネシア語(1人)アメリカ・英語(1人)		
⑩	12月22日 9:30-12:25	3時間	12人	中国(台湾含む)・中国語(4人) 韓国・韓国語(4人) フランス・フランス語(1人) インドネシア語(1人)イギリス・アメリカ・英語(2人)	教授者2人 補助・通訳3人	IAYオリジナル教材、「はじめのいっぽ」(先輩外国人保護者の体験談とワークショップ。)交流会。

⑨ 特徴的な授業風景



⑩ 活用した日系人等(日本語を母語としない)の名簿

氏名	母語(国籍)	来日年(日)数	参加回数	当該教室での役割
アレックス・ケリー	英語(アメリカ)	7年	10回	授業補助, 通訳
李 静	中国語(中国)	7年	10回	授業補助、通訳
金聖圭(キム・ソンギョ)	韓国語(韓国)	6年	10回	授業補助、通訳
李 嗣堯	中国語(台湾 R.O.C.)	7年	1回	教授者
秋美連(チュ・ミン)	韓国語(韓国)	2年	1回	教授者

⑪ 支援者の名簿(⑦以外)

氏名	所属	専門分野及び日本語教育に関する資格	参加回数	当該教室での役割
佐藤由季	IAY インターナショナルアカデミー	教育学修士	10回	コーディネーター (人材調整、募集、受講者対応・ケア、連絡調整、情報収集、教材準備、書類作成等)

4 事業に対する評価について

① 当初の学習目標の達成状況

子育てをしている外国人が必要とする基本的な日本語の習得を支援するという学習目標に沿って、講座を行うことができた。受講者からは、日本の学校についてよく理解することができたとの感想がよせられ、最後には日本語で作文を発表することができた。

② 学習者の習得状況

ひらがなの読み書きがほとんどできない入門者から、文法を勉強したことがある学習者まで様々な受講生が参加した。途中から習熟度別に2クラスに分け、それぞれの到達目標に合わせた授業を行い、日常生活の場面で必要とされる基本的な表現を身につけることができた。

③ 日本語教室設置運営の効果、成果

参加者からのアンケートによる評価は高かった。また、日本語ボランティアに興味のある方や、海外教育機関からの問い合わせがあった。

受講者へのアンケート結果での結果は下記の通り。

Q 講座の内容に満足ですか？

満足している	10
満足していない	0
その他	0

④ 地域の関係者との連携による効果, 成果 等

外国籍児童・生徒が多い公立小・中学校から協力を得て、実践的なオリジナル教材を作成することができた。もうひとつの事業である日本語ボランティア養成の参加者に、授業見学や授業補助を行ってもらい、地域の日本語の支援を必要とする外国人の実情を知ってもらえた。

⑤ 改善点, 今後の課題について(具体的に記述する。)

a. 現状

学校制度の違いや文化・生活様式等の違いにより、困っている外国人保護者が多かった。(例えば、給食費を払う場合、銀行口座引き落としの手続きが必要だが、自分の国に口座引き落としのしくみがないため理解できない。就学援助が必要な家庭なのに、配布資料が日本語で読めない。あるいはそもそもその制度があることを知らないため、機会を逃してしまう。担任の先生との付き合い方がわからない。学校行事が何のためにあるのが理解できない、など。)説明をすると、積極的に耳を傾け、質問も活発であった。日本語の習得だけでなく、様々な情報の提供が求められる。

b. 今後の課題

日本語支援を必要とする外国人保護者は、外出する機会が少なく、地域と関わる機会も少ない。受講生集めのための広報に関しては課題が残った。

c. 今後の活動予定, 展望

日本の学校についてと日本語教育の両方の専門的な知識を有する教授者の確保が必要である。また、限られた予算・時間数の中で十分に理解を深め本講座の目的を達成するためには、教材への翻訳の添付や、教授者との間に(特に質疑応答の際、)通訳が必要である。開講のためのコストがかかる一方、受講者である外国人保護者の募集は難しい。日本語ができない、あるいは日本社会にまだ適応できていない保護者が多く、外出の機会が少ない。

必要とする外国人は必ずおり、求められる講座内容であったが、開講には様々な検討課題が残されている。課題を解決し、事業を自立化させ、地域に貢献したいと考えている。